

| | | | | | | | |
|-------------|---|------|-------|--|-------------------|-----|---|
| 科目名 | 集中講義Ⅱ Closely-packed lectureⅡ | | | 担当教員 | 原 卓雄 (窓口教員 由良) | | |
| 学 年 | 5 | 学 期 | 集中 | 科目番号 | 14133050 | 単位数 | 1 |
| 分 野 | 専門 | 授業形式 | 講義・見学 | 履修条件 | 選択 | | |
| 学習目標 | 香川県及び周辺地域の産業の現状等を理解するうえで、「モノづくり」の魅力、開発(改善・改良)の重要性などについて講義を受けるとともに、特長技術を有する企業(世界一・日本一)の見学で現場の知識を習得することで、次のステップ(進学・就職など)における取組みに役立てる。 | | | | | | |
| 進め方 | 地域産業の現状を把握・理解するうえで、実際に見る(企業見学)、聞く(講義)ことは重要であると考え。 そこで、非常勤講師から、香川県の産業全般について講義を受けるとともに、生産現場を直接見学することで、特長ある技術・製品、開発のポイント・考え方、企業の社会貢献や、地場産業の歴史などについて幅広い知識(社会人としての知識)習得を目的とする。 | | | | | | |
| 学習内容 | 学習項目(時間数) | | | 合格判定水準 | | | |
| | 0. 全体的なガイダンス(1) 1. 「(株)香川県」の視点からの地域産業の現状 ・産業集積・地場産業・特長企業・支援機関などの状況・取組みなどを紹介する。 2. 特長ある技術を有する企業の具体事例 県内の特長あるモノづくり企業の見学 ・(株)広立(講義) ・(株)プロテック ・(株)高木綱業 ・東亜機工(株) ・(株)リソーシズ ・(株)福本ボデー ・(株)山城金属 ・(株)フジコー ・(株)コマックス ・(株)香西鉄工所 ・(株)カワニシ ・日プラ(株) | | | ・講師から出された課題(レポート)を自ら作成し、提出することができる。 ・講義内容から「何を感じたか」・「何を考えるか」を整理することが重要 ・例えば、自分だったら「このような取組み」をなど、自分自身の考えを明確にアピールすることが重要 | | | |
| 評価方法 | ・合格判定水準に達しているか、家庭学習が行われたかどうかを、レポートより判断する。レポート(100%)。ただし、出席状況によっては減点がある(最大-50%)。 ・見て・聞いて自身がどのように考えるかがポイントであり、正解はない。したがって集中講座から習得したものについての整理能力・文章作成能力・自身ではどのように考えるかなどが評価基準となる。 ・「何を感じたか」・「何を考えるか」の整理状況から判断する。 | | | | | | |
| 学習・教育目標との関係 | ○A(1) 日本と世界の暮らしや文化について、身近な事例を通じて説明することができる。 ・企業の海外進出における苦労話・文化の違いなどから、知識習得 ◎A(2) 現代社会を支える技術の実態と技術者の役割を認識し、事例を通じてそれを説明することができる。 ◎A(3) 技術が社会や自然に及ぼす影響と技術者の責任を認識し、事故や不正の事例を通じてそれを説明することができる。 | | | | | | |
| 関連科目 | | | | | | | |
| 教 材 | 「香川県の現状」などの資料 | | | | | | |
| 備 考 | | | | | | | |